大正十二年十二月十五日發行

婦人衛生雜誌

第三百七十二號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百七十二號目次

講演

○ヴィタミンと疾病　醫學博士　坂口康藏述

叢談

○消化作用と感情　醫學博士　丸井清泰述

○病人の食物　醫學博士　佐々廉平述

育兒

○醫師として見た震災後の小兒　醫學博士　田中幸一述

○小兒咳嗽の手當　醫學博士　竹内薫兵述

家庭衛生

○夜盲症の話　莊司秋次郎述

○地震津浪及火災に關する注意　久浮與那藏述

雜報

○關東大地震○全市火の海と化す○白骨山をなす

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヴィタミンと疾病

醫學博士　坂口康藏述

近來世間では「ヴィタミン」といふことを頻りに言ひはやす様になりましたが、中には種々の誤解もあるやうだから、夫れに就て少しお話しゝて見たいと思ひます。私の今申上げるのは赤裸々の話で包み紙もなければお化粧もない純然たる「ヴィタミン」の話であります。

凡そ如何なる機關でも之を動かすには原動力が必要で、熱とか水力とか、何にしても運動を起すべき材料が必要であります。人間の活動には蛋白質、脂肪、含水炭素といふやうな食物が必要でありますが其の外にまだ必要なものがあります。蒸汽機關には石炭の必要な事は申すまでもないが水もなければならんし、車輪の運轉を滑にする爲には油も差さなければなりません。夫れと同じ様に、人體には以上述べた三養素の外に水、食鹽、「カルシウム」、其の他の鹽類も缺くべからざるものであります。最も脂肪と含水炭素とは他のものさへ十分にあればその一つが缺けても構はぬが蛋白質を缺くことは出來ません然し過量の蛋白質は却て有害なる事があります。食物中人體に「エネルギー」を供給する主たる原料は澱粉で有ますから此點から云へば含水炭素は非常に必要なものであります殊に瘠せた人を肥えさすと云ふ時などには多量の含水炭素を與へる事が必要で蛋白質を與へたのではその目的を達す事は出來ません。

以前には蛋白質を食物中で最も大切なものと考へ一日に百瓦位も攝取しなければならぬ様に云ふて

居りましたが、今日では四五十瓦で足りるとしてゐます、每食米飯を三椀づゝ三度食べるとすればその米飯中に三十瓦位の蛋白質がある、殘りの十瓦や二十瓦を副食物から取る事はなんでもないから考へると粗食をしても蛋白質の不足を來たすと云ふ様な事はあまり憂ふるに足らんといふことになりますが蛋白質も唯量のみで論ずることは出來ず性質の方も考へなければなりません、蛋白質の種類によつて其の榮養價値は同一でありません。例へば玉蜀黍の中には「ツェイン」と云ふ蛋白質があるが、それ丈ではいくら澤山に與へても生きて行かれない、蛋白質は多數の「アミノ」酸から成つてゐるものだが、其の「アミノ」酸に様々の種類がある、人體の蛋白質に類似して居る蛋白質を攝取すればその「アミノ」酸は大部分體蛋白質を作るに利用されあまり無駄が出ないが著しく違つた蛋白質を攝取すると無駄が多く出る例へばこゝに一つの古い家屋があるとしませう之れを買ひ取り其の材料を用ひて新しく家を造ると云ふ時若し其の家が自分の建築しやうと思ふ家と一致してゐれば古い家の材料は全部役に立つ譯だが似寄り方が尠なければ尠い程不用になる部分が多くなり一つ新しい家を作るのに澤山古い家をこはさねばなりません、又新しい家に煉瓦が必要である場合に煉瓦を全く使つてゐなかつた古家を材料とするのではいくら澤山斯る家を持て來ても新しい家は出來ない。之れと同様に體蛋白質を造るに必要な或る「アミノ」酸を含んで居ない蛋白質はいくら多量に攝取しても之れから體蛋白質を作る事は出來ないのである。

斯う云ふ點にも注意し蛋白質の性質及び分量を適當に擇び含水炭素、脂肪、鹽類等を充分に與へても精製した蛋白、脂肪等を用ふると、どうしても動物の生命を保持することの出來ないことが判つて來た、但し其の化學的性質は今日尚不明であるが、兎に角以上述べたものゝ他に尙一つ生活に必要なる養素があるに違ひない。此の養素に對して「ヴィタミン」と云ふ名が附けられたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

元來「ヴィタミン」といふ名は生命に關係のある「アミン」と云ふ意味でファンクが附けたのでありますが、此の物は化學上「アミン」ではないから「ヴィタミン」といふ名は不穩當だといふて種々別の名稱を附けて居る人もあります。然し今日其の本態は未だ分らないのであるから理想的の名稱を附ける事は出來ない故に差し當り一種の符牒とし「ヴィタミン」といふ言葉を使ひ將來其の本態が明になつた後に適當な名稱をつけてもよいと思ひます。

「ヴィタミン」にも種類があつてA、B、Cと區別してゐます。Aは大概の食物の中には多少含まれてゐるが、肝油の中に最も大量にあります。「バタ」、牛乳、肝臟、卵黄等の中にも澤山にある、又野菜では青葉、人參、「トマトー」等の中に在る。若しAのない食物で動物を養ふと幼少の者ならぢき發育がとまり、眼の疾患が起り、遂に斃れて仕舞ひます。然るに瀕死とまで行かない時に肝油等Aを含んで居るものを與へれば恢復致します。

世間には時々夜盲症俗に「トリメ」といふ疾病に罹る人があります、これは「ヴィタミン」Aの缺乏から起るもので、肝油や鰻の肝臟のやうな物を與へれば癒ります。又卵の黄身でもよい、夜盲症に對して肝油の如く多量「ヴィタミン」Aを有するものは不思議なほどよく利きます。

動物試驗に於ては「ヴィタミン」Aの缺乏した食物を與へて置くとその動物の傳染病に對する抵抗力が弱くなる。元來人間や動物には自分で「ヴィタミン」を作る力がないから、どうしても食物から之れを攝取しなければなりません。妊婦は自分の生活に必要な量以外胎兒の爲にも一定量の「ヴィタミン」を攝取する事が必要であります殊に發育の盛な胎兒や、小兒は大人よりも比較的餘計に「ヴィタミン」が必要なのでありますから、妊婦は普通の人に比べて多量の「ヴィタミン」を攝取せねばその缺乏を來たすおそれがあります。乳汁中に多量の「ヴィタミン」が出るから食物に多少注意しないと「ヴィタミン」の缺乏を來

す事があります妊婦や褥婦が傳染病に對して抵抗力が弱いと云ふのはかう云ふ事も關係して居るかも知れません。

次に「ヴィタミン」は「カルシウム」新陳代謝と密切な關係があると云れ、Aが缺乏すると「カルシウム」を沈著させる力が減じて齒牙の發育は不十分になると云ふて居る人がある。さうすると妊婦の齒の弱くなるのは「カルシウム」を胎兒に送る爲に「カルシウム」が缺乏した爲めに起る障碍であるか尚又「ヴィタミン」の缺乏の爲めに起るのであるか、分らないのであります。

一般に「ヴィタミン」は(ABC共に)大人よりも發育の盛な胎兒や小兒では比較的多量を要するのであるから妊婦は自分の爲にも子供の爲にも大に攝取するやうに努めなければなりません。動物試驗によると孕妊中に「ヴィタミン」を與へたものと與へぬものとの間には分娩後其の發育に顯著の相違があります。

佝僂病に肝油を與へれば癒ると云ふことは以前から知られてゐました。此の病はAの缺乏の爲め起るのだと云ふ人も有りますが之れは決して單純な「ヴィタミン」缺乏症では有りません。近頃又肝油が「カルシウム」新陳代謝に關係を有することは確であるが之れは「ヴィタミン」Aの爲めでは無くその以外或物質が肝油の中に存するのである即「ヴィタミン」Aと石灰の新陳代謝との間には關係が無からうと云ふ考の人も少なく無い。

次に「ヴィタミン」Bはやはり種々なる食物の中にあるが殊に糠や酵母の中には多量にある、若し動物にBの缺けた食物を與へてゐれば白米病が起りますBは身體の發育に關係するものですからBが缺乏すれば發育が停止します、又Bの缺乏は脚氣と密接な關係がある。外國人は脚氣の原因をBの缺乏のみに歸してゐますが我邦の學者の意見は此の點に就て未だ全く一致して居ません。然し脚氣の發生とBの缺乏との間には重大な關係のある事は一般に認められ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐます。

「ヴィタミン」Bを主成分とする糠の製劑を以て脚氣を豫防及治療することが出來る。之れによつて浮腫や心臟の方の症狀は著しく輕快する。然し痲痹には利きが悪い。「ヴィタミン」研究に就て大に功勞のある鈴木梅太郎博士の作つた「オリザリン」を衝心患者に用ひてその一命を助けたと思ふ樣な例はいくらもある但し此の時には少し多量即ち一度に十箇位用ひねばならぬ。注射してから六時間乃至八時間を經過すると効果が現れるのであるから、それ丈の餘裕はなければなりません。

都會ならかうした製劑を得ることは容易だが田舍で製劑を手に入れ難い時は糠を煮出して飲んでも宜しい、それは糠三合に水三合を加へ文火で一時間乃至二時間も煮るのです、そして之を「フランチル」の袋で漉して飮ませるのですが、誠に飲み悪いものであるから患者は吐くことがある、若し吐かずに飮めたら必ず効果があります。

母親が脚氣の時其の乳を飲ませてよいか悪いかといふ問題ですが、母の脚氣はBの缺乏して居る時來るのであるから、乳汁にもBが不足してゐます、此の場合に糠の「エキス」を飲めば有效でせう。又母が脚氣になると乳兒脚氣が起るとして其の乳の飲用を禁じられてゐましたが、今では子供に異狀の起らぬ限りは禁止しないのを原則としてゐます。かゝる際には利くか利かぬかは第二として、兎も角も糠の「エキス」を母親の飲用するのは賢き仕方だと思はれます。

「ヴィタミン」Cは果實や新鮮の野菜に多く含まれてゐる、若し之を缺くと壞血病が起る。此の事實は最も古くから知られてゐたもので長い航海や籠城の際に起つたものであります、日露戰爭の時には旅順でも起つた。今日の航海にはそんなことはないが昔のやうに帆船で長い間海上をうろ〳〵してゐる場合に起つたもので、此の病氣に罹ると全身の倦怠を感じ下肢の皮膚に出血したり齒齦が膨れて出血した

りする。此の「ヴィタミン」Cは密柑や「オレンヂ」の汁の中に多く、其の汁が壞血病に效果の有る事は百八十年も前から知られてゐました。

メルレルバロウ氏病は母乳で養育せず牛乳其の他人工榮養法で育てられる子供に限つて起るものであつて、「コンデンスミルク」や殺菌の目的であまり長く煮沸した牛乳を呑ませる人に起るのであります。此時には骨にさわると痛むので、繃帶を代へる時などに子供がひどく泣きます、此の際菓實の汁か野菜の汁を與へれば癒る。牛乳の中には結核菌があるから煮るのはよいが、それは二三分で澤山なので十分以上も煮たらCは皆破壞されて了ひます。

元來Cは最も破壞され易いものであり、Bが一番丈夫なものでありますが、重曹の如き「アルカリ」性のものを加へて煮れば忽ち壞れて了ひます。BもCも酸には強いが「アルカリ」には弱いものであります。又一般に「ヴィタミン」は長く貯藏したものは尠く、干した野菜、乾物、鑵詰、鹽物等には尠い。總て人工を加へれば加へる程「ヴィタミン」は尠くなります。

「ヴィタミン」には又消化液の分泌に關係があつて、「ヴィタミン」が缺乏すれば消化液の分泌が減少するから消化が惡くなる之れは都會の人や文明人に田舍の人や野蠻人よりも胃腸病の多いと云ふ事實と多少關係が有るかも知れません。

「ヴィタミン」は未だ純粹のものを取り出すことは出來ません。「ヴィタミン」として發賣されて居るものはAを幾分か濃厚の狀態にして之れを「オリーブ」油に溶かしたものであります。理研ではAが結核に對する特效藥のやうに發表してゐるが、醫者仲間ではさう效能のあるものではないと認めてゐます。勿論「ヴィタミン」は身體の發育を助け生命の維持に特效のあることは明である、けれどもそれを多量に與へたからといつて夫れだけ效があるものではない。飢た人に食を與へたのと同樣「ヴィタミン」の缺けた人に「ヴィタミン」を與へれば著效を奏するが過量に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

與へたからと云ふて特別丈夫になるとは考へられない。先づ普通の人は必要丈はとつてゐる、贅澤の人が料理によつて「ヴィタミン」を壞してしまう場合等は別であるが、普通殆んど凡ての食物の中に「ヴィタミン」が入つて居るから普通之れは缺乏して居ないかゝる人に特別に澤山與へても效の無いのが當前であります。

食物に多少注意して「ヴィタミン」の缺乏を起さない樣にするのは宜しい事であるが特に夫れが爲「ヴィタミン」の製劑を攝取する必要は普通の場合ありません。若し結核症が夜盲症の如くAの缺乏から來るのならAを取れば大に效果の有るわけであるが今日では結核患者に「ヴィタミン」Aの缺乏してゐると云ふ實驗はありません、否寧ろ滋養品を多く取る爲普通の人よりは幾分か多い樣だと云ふ樣な事を云ふて居る人もあります。

次に醫者の見放した結核患者に「ヴィタミン」Aを與へて全治したといふやうな例が一例や二例あつたからと云ふて之れだけで之れを結核の特效藥と速斷するのは大なる間違ひであります。結核は決して不治の病では無い、醫者が駄目だと云ふたものが治ると云ふ樣な例は決して珍しく無いのであります。

そんな譯で今日の處でも未だ遺憾ながら「ヴィタミン」が結核に對し特別に效果があるとは申し難いのであります。

叢談

消化作用と感情

醫學博士　丸井清泰　述

本篇はもと丸井博士が一般のお醫者方に對して述べられたもので、頗る有益な又面白いお話でありますが本誌の讀者諸姉には尙ほ多少專門的の解しにくい所があるや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うに思はれますので、なるべく平易に要點だけを抄錄して御紹介する事と致しました。(編者)

自分は消化機病學からは全くの門外漢である、然し自分の專門に研究して居る神經病、精神病學の立場から人の精神狀態殊に感情の狀態が消化作用と如何なる關係があるかを述べて見ることは、全然無益のことでないかと思はれる。世人は人間が精神現象殊に感情を有することを一時忘れた樣な狀態で、種種の病症の心的要素を顧慮することを忘れたといつても宜い狀態にあつた。然るに近時吾人は再び心理學の領域に引戻され實際醫家に精神現象に關する精密なる知識が大切であることを知るに至つた。吾人の精神現象殊に感情は屢々無意識精神現象により支配されることが明らかとなり、一方に於ては種々の感情は消化作用に色々の影響を及ぼすことが諸家の實驗によつて明らかにされた今日に於ては醫家は同時に心理學者でなくてはならぬことになつて來たのである。

感情と消化作用との間には非常に密接な關係あることは吾人の既に知れる所である。消化作用殊に消化液の分泌作用は食餌の外觀、その香及び味によつて始めらるゝものである。唾液の分泌は吾人が美味なる食物を見又はその香を嗅ぐことによつて起ることは日常經驗することである、これと同樣のことは胃液の分泌についても見られる。犬に於ける實驗によると、犬が食を咀嚼しこれを嚥下する時には、この食物が食道に造つた孔、所謂食道瘻を通つて外に出て胃に入らんでも約五分時間の後に胃液の分泌が始まり、この分泌はその後犬が食物を咀嚼し嚥下を繼續する間はつゞき尚ほ食物攝取が終りたる後も暫時續くものである、然してこの分泌は犬が食慾を有し食物に美味を感ずる時のみ起るものであるから、心的の胃液分泌であることがわかる。又犬は單に好む食物を見又はその香を嗅ぐことによつても胃液の分泌を起す。この心的に起る唾液及び胃液の分泌は、食物の消化に極めて大切な意味を有するもの

である。即ち唾液により食物が溶解し味覺器を刺戟し、これにより起る味覺はその後に起る唾液胃液の分泌に大關係がある、又心的に最初に分泌された胃液の酸或はこの胃液によつて出來た消化產物は胃の出口なる幽門部の粘膜に作用し胃液の分泌が更に起り又膵液、膽汁の分泌は胃液の酸が十二指腸の粘膜に働くことによつて起るからである。この犬に於て得られた實驗業績は人にも適用されることは、胃瘻管を有する患者に於ける實驗によつて確かめられて居る。斯の樣に心的に最初に起る分泌作用は後の消化作用に大なる關係を持つからして、食物攝取の際に於ける吾人の苦痛や感情興奮はこの消化作用の起端を支配するだけではなく、その後の消化作用の經過をも大に支配するものである。この事實よりして食物を調理してこれを給仕する時には、その外觀等に一定の注意を拂ふことが必要であつて殊に食慾不振の患者などに於ては特に注意が必要である。

消化作用に好都合なる條件は、苦悶、心配、不安恐怖、憤怒等の所謂消極的感情により全然破棄せられるものである。不安なる演說者は唾液の分泌が滿足に起らないため演說中、口中が乾燥したえず水を飮むことが必要であることは日常吾人の見ることである。同樣のことは胃液の分泌に就ても見られる犬に就ての實驗に於て胃液分泌が高潮に達したる際に猫を近づけ犬を怒らしむると今迄盛に起つて居た胃液の分泌が止むことを實際に證明することが出來る、尙は胃液の分泌を止むる樣な精神障碍は膵液の分泌を止め膽汁の分泌を阻止すると云はれて居る。

分泌機能のみならず胃の運動或は胃腸の運動は動物が興奮の狀態にあるときには止むものである。猫に就ての實驗によると、恐怖や怒によつて胃壁の收縮は全くなくなる、腸の蠕動、大腸起部の逆行性蠕動も感情興奮の徵を示す時には止むものである。

これはレントゲン線照射により直接に證明することが出來る。人に於ても胃壁の運動、腸の蠕動は悲哀不安その他强き感情的狀態に於ても止むものであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて、この精神的の失調の狀態に於て胃の弛緩、不活動の感を起すと云はれる。ミュルレル氏の記載せる患者は不安の狀態に於ては胃部膨滿の感及び重感を伴なうことを示して居る。この例に於ては感傷的の狀態に於て常に胃部に上述の症狀を起し、これは精神障碍の度と永續時間の長短により三十分時乃至數日間つゝくを例とした、凡そ胃部の重感は神經質の人に於ては屢〻訴へらるゝ症狀である、これ多分胃の內容物の停滯により起るものにして、斯くの如き停滯が起ることは次の例に於ても示される。神經過敏なる一婦人患者は、消化障碍を訴へ醫の診療を受くべく夫と共にボストン市に來り一泊せり、翌朝試驗朝食攝取後一時間にして醫を訪ひ胃內容物の檢査を受けしに、胃液は遊離鹽酸を含ます、試驗朝食は消化されず、加ふるに前夜食せし食物の多量に尙ほ停滯せるを見たり。主治醫の談によりこの停滯の原因明らかにされたり。曰く彼女の夫はボストン市に來るや大に飮酒し高度の酩酊狀態に陷り婦人をして終夜非常なる不安狀態に居らしめたりと、依りて更に翌朝滿足なる睡眠の後檢査を反復したるに、胃液の酸度は適當にして試驗朝食は正常に消化せられ且つ排除せられ居ること明らかとなつた。この例の如きは感情の要素が最も大切なものと見るべきであつて、ローゼンバッハ氏はこれを神經性消化不良症といふよりも感情的消化不良症と命名すべきであると云つて居る。その外身體の一定部位に甚しい疼痛ある時も胃の收縮が止まり、胃液の分泌は阻碍され、食慾が害され、嘔吐、下痢等色々の消化障碍の症狀が起るものであると云はれて居る。

精神病、神經病には種々の感情障碍を以てあらはるゝものが多數にあるが、その內消化作用に不都合に働く恐怖、不安、心配等を主徵候として來る病型は不安性神經官能症及び不安性「ヒステリー」を最も定型的のものとし、外に「チクロチミー」、「ヒステリー」症、「ヒポコンデリー」等にも病氣の經過中に不

安、心配、悲哀、恐怖等の感情が著しくあらはれる時期があり、是等の感情障碍の狀態に於て消化管系統に種々の症狀があらはれるものである。不安性神經官能症は從來神經衰弱症の內に包含されて居たのであるが、その原因及び本質は神經衰弱症とは異なるものである。フロイド一派の學者の研究によつて、このものは性慾の不滿、性慾の壓迫によつて起るものであると云ふことが明らかにされた。これによつて強い不安、恐怖が起り、その隨伴症狀として消化器に於ける色々の症狀即ち食慾不振、胃痛、嘔吐、噯氣、便祕等が起る。不安性神經官能症にはその外に色々の症狀が在るが、其等を詳說することはこゝには避けたい。この病氣及び次ぎに述べる不安性「ヒステリー」症その他の狀態に於て患者自己は原因不明の不安に堪へがたく、その不安を一定の身體器官に結びつけ、その器官の病氣に關して不安を有する樣になる、即ち不安が一定の器官に移されるものであつて、患者は恰かもこの器官に病氣があつて現在患者の苦しむ色々の症狀が起る樣に考へるものである。從つて消化器の場合に於ても患者は別の原因から起る不安を胃腸に移し、不安の隨伴症狀である處の色々の消化障碍を胃腸病があつて起るものと考へるのである。ステケル氏は胃病患者の二分の一乃至三分の二は不安性神經官能症、不安性「ヒステリー」症に罹れるものと信じてよいとさへ極言して居る。不安性「ヒステリー」症も不安を主として來る神經官能症で、色々の恐怖症を有し、外に不安性神經官能症と同じ樣な症狀を示し、不安性神經官能症と伴なつて來ることも屢々である。兩者の區別は不安性神經官能症は身體的現象より起るに反し、不安性「ヒステリー」症は精神的作用殊に精神衝突(軋轢)の結果生ずるといはれる。然しステケルによると兩者の區別は單に量的のものであつて兩者に質的の差はないと云つて居る、自分はこの說に贊するものである。時には「ヒステリー」症が不安性神經官能症に混じて來

ることがある。「ヒステリー」症も亦患者の無意識界にある一定の感情的思想願望と患者の自我理想との間の精神軋轢の結果起るものであつて、色々の身體症狀をあらはすものである。その經過中には不安心配等が強く起る時期があり、その時色々の消化障碍が見られる。「ヒポコンデリー」といふのは一つの集合名稱であつて色々の狀態がこれに包含される、その內には前述の不安性神經官能症も包含されることがある、この場合には不安が病氣を恐れる觀念に變化されるのである。ドライフース氏は躁鬱病の極く輕症なる場合卽ち所謂「チクロチミー」の場合に神經性消化不良症を見て居る。その輕度の鬱憂狀態の時期に於ては患者は生活が面白くなくなり、何事を爲すも面倒となり、能率が減退した樣な感が起り同時に色々の消化不良の症狀が現はれる。患者自己は自ら胃腸病と考へ醫を訪ひ、醫も亦その眞の狀態を診斷することが出來ず消化器病と誤診することが多く、次いで治療をつゞくる間に輕度の躁病狀態の時期になると、患者は非常に爽快となり、何事をなすも面白く元氣となり、能率が增進し消化器に關する色々の訴も消失する、患者及び醫師共にこれを治療の結果と考へるが暫時にして又鬱憂時期になると消化障碍が歸つて來るのである。神經性下痢も亦以上述べた諸症に見られる。然かも患者は自ら不安の狀態にあることを知らないため腸の疾患と考へる。凡そ不安、恐怖、心配の狀態に於て下痢の起ることは這回の世界大戰に於ても見られたことであつて、戰線に出でんとする多數の軍人に神經性の下痢が見られたことは周知の事實である。

以上不安性神經官能症その他の狀態に於て見らるゝ消化器の症狀は、吾人が既に神經性消化不良症として知つて居るものゝ症狀と同樣である。この神經性消化不良症はロイベ氏が初めて記載してから色々の學者によつて色々に說明されて居たが、精神的要素に重きを置く學者も多數にあり、ローゼンバッハ氏は心的原因殊に感情によつて起るものに感

情的消化障碍症なる名稱を與へたことは、既に前に述べた通りである。

近時精神分析學の進歩により不安、恐怖の感情が如何なる狀態に於て起り又如何なる原因から起るかといふことを以前よりも一層よく說明せらるゝ樣になり、又この不安恐怖は一定の機官に移されることが明かにされ、一方に於て不安恐怖の隨伴症狀として色々の消化器症狀が起ることが實驗上證明されて居るので、是等の事實は所謂神經性消化不良症の治療の上に極めて大切なことになつて來たのである。

凡そこの神經性消化不良症の症狀は自覺症狀が多樣であり且つ變化しやすく又食物の量、性質、食事の攝取に必ずしも關係しないこと及び症狀が精神現象により增惡する。又他覺的症狀も變化しやすく、胃液の酸度も日によつて變化すること等は有勝のことである。

治療法は卽ち症狀の原因となれる心的原因を見出すことが大切である、輓近精神分析學の進歩は消化不良の原因となり得る色々の神經官能症、精神障碍を以前よりも一層よく區別し得る樣になり、且つ是等の狀態の原因を一層深く研究し治療し得る樣になつた、從つて胃腸の疾患の治療にも精神分析法が應用せられる樣になつて來た、特に「ヒステリー」症、不安性神經官能症、不安性「ヒステリー」症等は精神分析法によつてよく支配し得るからして、是等の病氣に來る胃腸の症狀も從つて支配し得るわけである。近時神經官能症學說の進歩により性的生活の異常、性の發達異常が神經官能症、精神障碍の原因となり、間接には胃腸障碍の原因となり得ることが明らかにされたから、一定の場合には性的生活をも研究し、その異常を矯正することが必要になつた。これにより根本にある病氣が治癒すると同時に胃腸の症狀をも消失せしむることが出來る、精神分析學的療法は凡ての場合に用ゐ得るものではないかゝる場合にも說明と慰安は最も大切であつて、病

氣が胃腸に存するのではなく患者の感情異常がその症狀の原因であり又自己觀察がよくないと云ふことを患者に說いてやることが必要である。食餌療法藥物療法は神經性の消化不良症には必要がないと云ふ人もあるが、これは贊成が出來ない。矢張り補助的對症的療法として缺くべからざるものである。唯だ根本的の療法としては何うしても精神的の療法によらねばならぬと思ふ。根柢に重い體質性の疾患がある場合には治癒は中々困難であつて、一旦は治つても再發しやすい、かゝる場合には職業境遇の變化により神經症狀がなるべく起らぬ樣にすることを努力すべきである。

神經性消化不良症には滋養肥胖療法が效があることがある。これは食物に對して色々の恐怖を抱いて居る患者をして自己が考へて居るよりも多量に攝取しても差支なくこれを消化し得るといふ確信を與へ得る點に於て利益がある。

これを要するに、吾人の感情は消化作用と密接な關係を持つて居る。感情の影響により色々の消化障碍が起り得るものであるから、胃腸病の時にはその機質的疾患を顧慮することは勿論缺くべからざることであるが、一方には精神殊に感情の狀態に注意を拂ひ、更にこの感情異常が如何なる原因から由來するかといふことを研究することが必要である。かくして個人々々に適當の治療を施すことがはじめて出來るのである、精神殊に感情の要素を度外視した病氣の治療は完全なものと云ふことは出來ないと思ふ。

病人の食物

醫學博士　佐々廉平述

病人食物の調理法に就ては曾て本會の例會に於て佐々博士に御講演を願つた事がありましたが本篇は同博士が一般醫家の爲に何故に病人食として此の如き食品を選ぶ

か、何故に斯の如く調理すべきかの學問的根據を述べられたものでありまして前の通俗的講演をお聽きになり又はお讀みになつた讀者諸姉は、これを併せ讀まれたならば益益確實なる知識を得られる事と存じまして玆に轉載させてもらひました　（編者）

一般食品の內特に病者に適する食品あり。又病人專門に調製せらるゝ食餌あり。是等の食品食餌に就て、何故病人食餌として選擇せらるゝや、何故然かく調理するかの學問的根據を述べん。所說毫も新しき所なし。

甲、動物性食品及其製品。

（一）肉及其製品。

肉（獸、鳥、魚、貝肉）は大量（約二十％）の蛋白質と大小不定の脂肪分を含有し、消化吸收一般に非常に良なること、並に天然並に調理の際發生する香味物を含むを以て最高價の食品なり。一般に纖維軟弱なる程、脂肪量少き程消化吸收良し病人には特に細碎又は削肉として用ふ。

赤肉と白肉　古より赤肉は滲出分多し、血色素多し、鐵分多しとし、病者に與ふることを厭ひたり然し兩者には格別の差なきを慥め得たり。唯白肉は一般に脂肪分少く纖維柔軟にて、赤肉より幾分消化良きことは事實なり。

ソップ　これは牛肉鷄肉又はそれ等の骨を碎いて水と長く煮沸して得たる煎汁なり。從てその成分は肉質より溶出し得る少量の浸出分、膠、香味物、肉鹽のみとす。全固形分量は僅かに二乃至三％に止り滋養としての價値殆んどなし、ソップの重要なる作用はその少許の滋養素に在らず、主としてその香味物その滲出物に基く刺戟興奮作用に在り。卽ち口腔胃腸壁を刺戟して消化液の分泌を高め、食慾を起し消化吸收を促進すること、並に吸收せられたる後主として心臟及び神經系統を刺戟してその疲勞を恢復せしむる點にあり。從て食慾不振、胃腸機能衰弱心臟及び神經の疲勞狀態に適す。例へば慢性疾患、急性疾患の恢復期、老人、虛弱者、勞働後に用ゆ可し

これに反し胃腸過敏なる時、例へば急性胃腸加答兒急性熱性病の初期、次に心悸亢進、神經過敏、不眠等には一般に禁忌す可し。尚ほ又鹽分浸出分多きため、腎臓及び尿路の急性疾患、痛風にも忌む可きなり。

湯煎ソップは重湯煎に由り肉質より涌出する浸汁なるを以てその成分、生理的作用、醫治應用總てソップと一致す、唯彼に比し働強きを異にするのみ。

肉汁　表面を炙りたる生肉より壓榨して得たる血性溷濁汁なり。火を用ひざるため蛋白質の含まるゝこと多く、又香味物の發生少きことを、一般ソップより異る所とす。昔より結核患者に好用せらる。(所謂肉汁療法)。

人工滋養品　これは動物性食品稀に植物性食品を原料とし、これを一部人工に消化し又は消化し易からしめたる製品なり。從て理論上消化機能のみ減弱し吸收機能の正常なる場合(かゝる場合は實際は殆んどなし)に適す。實際上には天然食品を攝取し得ざる場合、又は天然食品と合せ攝りて、患者に大なる慰安を與へ得る點に於て大なる價値あり。

膠　ソップ中には少許の膠あり。大量を要する時はゲラチンを用ふ。膠は體蛋白質崩壞を保護する力大なるを以て熱性病者に適す。消化良なれども分量を過ぐる時は腸内にて一部腐敗し消化障碍を起す。又別に止血の效あり。

(二)牛乳及製品。

牛乳は人間に必要なる總ての滋養素を、しかも消化し易き形に含む點を優とす。然しその吸收率意外に悪しく(七乃至一〇%不吸收)、又牛乳に對する特異性を有する人多數あることは注意を要す。

牛乳を病者に使用する際、種々の加工が役立つことあり。(一)消毒、無菌、無汚物の生乳を得ること難きを以て、一般販賣品はこれを消毒す。消毒に由り有害なる微生物を撲滅し得るも、然し消毒後貯藏法悪しき時は忽ち腐敗する恐大なり。吾人は消毒法に由り有害なる腐敗菌を撲滅すると共に、有益なる

醱酵菌をも死滅せしむ。しかも腐敗菌の芽胞は尙ほ生存す。醱酵菌は腐敗菌の繁殖に拮抗し牛乳の腐敗を防ぐ。然るに熱に由り死滅せば腐敗菌の芽胞のみ殘りこれが後刻(溫所に消毒乳を貯へば)發育して牛乳は速かに腐敗す。この他尙ほ消毒に由り有益なる酵素を失ふものとす。(二)この乳の香味を矯正するため、番茶、紅茶、咖啡、「カカヲ」を混入す。(三)牛乳と等分又は半量の穀粉糊又は重湯を混ずることに由り。牛乳による消化障碍を除去し得ることあり(四)牛乳に少量の濃厚酒精性飮料を加入することにより、牛乳飮用後の胃部不快感去ることあり。(五)牛乳一合に約一五瓱石灰水又は二瓦重曹附加に由り胃腸内酸性醱酵を制止し得ることあり。(六)「ベクニン」所置に由り、牛乳の胃中に於ける凝固、これに由る障碍を除去し得。

「ケフヰール」(牛乳酒)牛乳を特殊醱酵せしめて作る少量の乳酸と「アルコホル」を含有す。人に依り運用すれば食慾高まり肥滿す。昔結核患者に好用せり。

「ヨーグルト」牛乳を特種醱酵せしめたるものなり。醱酵の度に由り或は便祕性に或は催痢性に働く而しこれに由り腸腐敗止み、從て動脈硬化症を豫防し不老不死に奇效ありと云ふは誤れり。

山羊乳　山羊を飼養してその都度新鮮の生乳を得る點に於て特別の價値あり。

(三)卵。卵白は蛋白質を、卵黄は蛋白質の他脂肪質を極めて消化し易き形に(乳化の狀に)保有するを特點とす。卵に對し特異質を有する人尠少からず。又卵は容易く滿腹感を起し、他の滋養品の攝取を妨げ易き故病者にはその量を制限することを要す。

乙、植物性食品及びその製品。

(一)五穀類。亞細亞人は主として米を。歐米人は主として小麥を主食品となせり。五穀が何故人間の主食品となりしやの理由は、(イ)五穀は人間に重要なる養素(澱粉)を多量に含み、少しく調理を加へば吸收頗良卽ち滋養價大なり。しかも風味淡白にして永く厭惡なく食し得。(ロ)價頗る廉。(ハ)澱

粉は他の養素殊に蛋白質脂肪質に比し毒性少く量を過ごすも差支なきこと等に歸し得可し。而しながら五穀類のみにては人間は生活し難し。その最大理由は蛋白質の過小なる點に在り。但し少量の動物食品を附加せば既に足る。次に人間は常に穀粒の皮質(麩)を取去りて食ふ習慣あり。これは一部はその消化吸收を容易ならしむる點に存するも、主として香味を良くせんために出づ。然し糠殊に米糠には木質の他多量の滋養分(特に蛋白質、燐酸鹽類)と、近時盛に問題視せらるゝ「ヴィタミン」Bとを含有し、白米をのみ偏食する時は一種の榮養病(脚氣種疾患)を起す。從て近時反對に半搗米、玄米食一部の人士に行はる。

五穀はこれを搗きて外皮を去り、米なれば米飯の形とし、小麥なれば小麥粉とし更に麵麭に炙れば、其消化吸收絶佳、敢て動物性良品に劣らず。米粥とせば一層良し、唯容積(水分)の過大となる恐あり特に病用として賞用せらるゝものは所謂病人「ソップ」(穀粉糊、粘滑汁とも云ふ)なり。重湯もこれに屬す病人「ソップ」は米、麥、その他の穀粉を約十倍の水と煮て作りたる糊汁なり。重湯は米粒を水と長く煮沸して得る粘滑汁なり。病人「ソップ」は味溫和、無刺戟消化最良なる點を以て、重病者にも他の總ての食物に率先して用ひらる。特に急性消化器病、急性熱性病者等にて消化機能極度に減弱し又は胃腸壁過敏となれる時、然のみならず胃腸壁又は附近(特に腹膜)に損傷ある時にも先づ用ふるに足る。粘滑汁は炎症面、創面を被ひて刺戟を柔げ、屢〻腸管の餘り空虛となるため起る、強き疼痛を伴ふ空虛性腸蠕動を去り正常の腸運動を誘ひ、腹痛を柔ぐ效さへあり唯茲に注意す可き點は、穀粉糊は固形分僅かに一〇乃至一五%以下又重湯に到りては實に三%に止る。從てこれを運用すれば必ず榮養不足に陷る。從て總ての疾患に於て、病人「ソップ」は之を要する時期のみに止め、一旦この時期を經過せば速かに凝固食、粥食、固形食の順に進むを要す。この注意を怠

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るときは「病は治して、しかも病者は斃る」。屢〻その養價を高むるため穀粉汁に種々の食品例へば牛乳、卵黄、人工滋養品を附加す。

（二）豆類。豆類は大量の蛋白質（乾品に就ては肉を凌駕す）並に澱粉を含み、しかも價廉なるを特點とするも、風味乏しく容易く厭易く、特別の調理を施さゞれば人間に向て消化吸收困難なるを劣點とす。即ち水と熟煮するか又は一旦細粉に挽き水と煮れば消化佳良となるも、かゝる操作に由り、豆は大量の水を引いて容積過大となり、十分の分量を攝取すること困難となる。この風味に乏しきこと及び容積過大となることが、豆の主食品となり得ざる理由なり。

病人には豆を水と熟煮し裏漉とし木質に富む皮を去り、又は豆粉を水と煮て作りたる、豆粥、豆「ソップ」として用ふ。然しかくするも尚ほ穀粉の如く消化良ならず。從て消化作用惡しき患者、急性病者には用ひず。大豆を原料として作りたる豆腐、味噌に就ても同樣の注意を要す。醬油の必要は病者健者の間に差別なし。落花生は蛋白質及び脂肪分多く澱粉少き（但し尚ほ一五％を含む）を以て、糖尿病者の間食に用ひらる。

（三）芋及び根菜類。芋類は澱粉に富み、しかも單簡なる調理に由り消化吸收良、その價至廉なるを優點とするも、蛋白質非常に少く、容積（水分）大なる點より主食品となること難し。

病用として、馬鈴薯は消化吸收最良なるを以て慢性病、恢復期に適す。甘藷は纖維素多き故常に裏漉を要す。山の芋汁は生澱粉なる點を注意す可し。菊芋は澱粉の代りに「イヌリン」を含み、屢〻糖尿病者に用ひらる。一般に芋類は單味よりはこれに蛋白質特に脂肪（通例「バタ」）を混入すれば、消化吸收一層良好となる。

（四）野菜類。野菜が人間食餌として必要なる根據は次の如し。（イ）水分、鹽分殊に石灰分、並に「ヴイタミン」に豐富なること。從て野菜を多食せば是等養分の缺乏に由る弊害を免れ得。（ロ）香味に富み、

他の食品の攝食を容易ならしむ。米飯は「香の物」を添ふる理は玆に在り。（ハ）容積大從て滿腹感を起し易きこと。元來吾人は食膳を去るときは常に適當の滿腹感を要求す。滿腹感は食餌が十分の滋養素を有することのみにては不足なり。必ず食物が一定のその人の馴れたる（胃の大さに適應する）容積あるを要す。滋養素濃厚なる容積小なる食品には野菜を混食すれば過食に陥ることなし。この關係は上流の人、肥滿者に向て重要なり。（ニ）便祕を豫防す。肉食者の糞便は量少く粘稠にて排便困難なり。之に一定の野菜又は芋類又は果實類を附加せば排便容易となる。これは一は不消化性木質あることに由り便量大となること、一は木質の器械的刺戟竝にその醱酵廢物に由る化學的刺戟に由り腸蠕動亢進することに歸す。

病用としては、野菜は養分少く不消化分多く、消化障碍を起し易き故、特別の種類を選び又は特別の調理を要す。消化稍々良きものは、煮沸「チサ」、煮沸冬瓜、蒸煮胡瓜、煮沸「ホーレン」草、「アスパラガス」の尖端、人參、花甘藍等とす。他のものは必ず裏漉を要す。次に特種の疾患に向て野菜が直接治療的效果を呈することあり。壞血病、貧血症等その例なり。

廣義の野菜中特に注目す可きものあり（一）菌類これは香味に富むも、消化困難にて如何に調理するも病用に適せず、唯其煎汁（菌「ソップ」）は食慾を亢進せしむ。（二）海草類中、昆布は其煎汁の風味を應用す。海苔も不消化なれども使用量少き故特別の場合の他病人にも用ふるに足る。（三）瓜類は煮食するものに就ては一二前述せり。生食するものは效用果實に酷似す。

（五）果實類。果實は多量の水分の他、中等量の糖有機酸、竝に良香を放つ所謂果實「エーテル」を有するを以て、その香味に由り食慾を進むる嗜好品となる又糖を有するため、滋養品としても多少の價値あり病用としてはその水分、酸味、甘味のため、口渴を

醫する清涼劑として熱性病者に好んで用ふ。又その緩和なる通痢の働により便祕者に適す。然し果實は不消化分多く又酸に富み酸性醱酵を起し、容易く胃腸障碍を來すを以て、病者には通例生の儘は與へず、これを煮沸して果實「ソップ」を作り、又少量の白膠を入れ果實「ゼリー」として與へ、或は果實の汁のみを單味又は砂糖を加入して用ふ。

(十六)香辛類及甘味物。香料又は藥味はその內に含まるゝ量少なけれども働強き有效成分(これを香味素と云ふ)に由り香味少き滋養素又は食品に附加し、これを味良く香良くし、攝食を容易ならしむる役目あり。病者には一般に緩和なるものを選ぶ一般に食慾亢進を欲する場合に於て、吾人は一は「ソップ」及肉汁により、一は苦味物(醫藥)に由り、一はこの香料により目的を達す。

甘味物殊に砂糖は、滋養品兼嗜好品にして、病人食餌としても缺く可らず。注意す可きは糖類は速かに腸內にて吸收せらるゝも、尙ほ吸收前醱酵を起し得。從て醱酵し易き人には分量の制限を要す。

(十七)脂肪及び油類。脂肪は三大養素中最も消化吸收困難なり。特に植物性油類に於て然り。脂肪の消化吸收を佳良ならしむるには、これを細かき球に變化せしむるを要す。例へば裏漉芋、裏漉野菜に加入したるが如し。天然品中、牛乳、牛脂、卵黃は乳化の狀にある故、最消化良し。近時著目せられし點は動物性脂肪が多量の「ヴイタミン」Aを含有する點なり。

丙、嗜好品。

(一)酒精性飲料。

酒精は、(一)滋養品(食品)として理論上には價値あるも、實際上にはこれなし。卽ち酒精を飲めば全身皮膚潮紅し發生せし熱量の一部浪費せらる。その養價に對し價格高し。又分量を過ぎ易く、過ぐれば中毒作用大なり。病用としては時として糖尿病者に食品として與ふることあるのみ。(二)酒精の胃腸への働は、大量にては常に有害に少量にては個人に由

り異り、一部の人にのみ食慾消化を促す。然し酒精の胃腸への局所作用も肉汁又は苦味劑に比し優れる所なし。唯酒精は精神的に働き、間接に攝食を容易ならしむる點に於て多少の價値あり。(三)酒精を興奮劑として使用することは、動もすれば奏效過大に陷ることゝ、又興奮作用を發揮したる後、常に全身弛緩精神沈鬱を後發する點に於て、寧ろ次述する咖啡。茶に劣る。

(二)「アルカロイド」含有嗜好品。

一、咖啡、茶、「カカオ」等は酒に比し、興奮作用強きに過ぐる恐なく興奮後沈鬱を繼發せしめざる點に於て、酒を用ふる能はざる總ての場合にも興奮劑として適當す。

二、咖啡と茶を比較するに、茶一杯中の茶素量は咖啡一杯中の咖啡素量に比し、約1/3に過ぎず、從て作用弱し。然し有害作用も亦少しとす。又茶は咖啡に比し胃腸を損せず、咖啡は胃腸障碍を促し易きに對し、茶は却てこれを調節し多少便祕性に働く。酒の作用は咖啡又は茶に由りて償はれ、茶は咖啡に比し一層無害なるを以て、酒を廢せんとするときは茶の普及を最も勸む可きものとす。

三、カカオに就て注意す可きはこれは咖啡又は茶の如くその浸汁を用ふるに非ずして、豆粉全體を食用するものなるを以て、多量の滋養分(特に脂肪質)を攝取し得るも、動もすれば消化障碍を起す危險ある點なり。

四、煙草は害多く益少し。唯便通を促し、又食慾を一時制止せんとする場合に適する位に過ぎず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

育兒

醫師として見た震災後の小兒

醫學博士　田中幸一述

我々は少くとも私の生活史に未だ經驗して居ない大震災に遭遇した、我々大人が地震を恐ろしく感じるのは我々の最嫌ひな「死」に陷る事を恐れるのであらう、然し「死」と云ふ觀念の不明な子供に取つては地震は恐ろしく無いかも知れない、自分の子供を觀察すると確かに我々よりも恐れて居ない、私は可なりの地震嫌ひであるので餘震ががた〳〵と搖ると「ピクッ」とする、それを見て九歳の男兒は「お父さんは恐がりで」と云つて居た、七歳の男兒の方は尙更恐ろしいと云ふ表現をした事が無い、第一日親戚へ遊びに行つて居る際にあの震災に出逢ひ自宅の方は燒けたと云ふ流言があつたので一夜上野に避難したのであるが其間も食物を欲し。よく睡つたそうである、親戚の五歳と三歳になる女兒は背負はれなければ逃げやうとしない。

然らば小兒の精神並に肉體は此震災に全く影響を受けて居ないかと云ふと決してそうでない、如何なる小兒と雖あの初めの音響と震動とに對しては確かに恐怖を起したに相違ない、而して稍々年長の小兒ならば逃走しやうとし嬰兒ならば泣いたに違ひない、之丈は恐怖逃走共に自己の生命を保持すべき天賦の本能だからである。

然し幼兒は其恐怖を持續して居ない、再新な大地震を想像もしない、だから大人の樣に地震を恐れないのであらう。

然し親達や周圍が甚しく恐れる傾向があれば子供も不安に陷り早期特化によつて持續的に地震を恐れ

る樣になるのではあるまいか、私の幼時は煉瓦造の家に居て家族一同は當時安政の地震を經驗した老人によつて煉瓦造の恐ろしい事を聞かされて居た、從て家族は皆地震を恐れた、私の地震嫌ひも或は源を幼時に發して居るのではあるまいかと思ふ。

健康な小兒でも周圍の不安恐怖に誘はれて恐怖を起すが殊に神經性素質のある小兒では震災後著しく恐怖性が高まつて居た樣である、乳兒でも泣き易く所謂蟲が起つたと云ふ訴を屢々聞いた而して少量の臭素劑でよく治癒した事を實驗した。(例、一年十一ケ月女兒、九月一日以來夜間突然に叫び食思減退と云ふ樣な訴である)

九月の半ば過ぎ山の手線の電車に四五歳の女兒を伴れ乳兒を負ふた婦人が乗つた、電車が進行始めると共に立つて居た女兒が「コハイヨー」と云つて火のつく樣に泣き出した、母親の話しに地震以來無暗に恐がつて困ると云つて居た、恐らく電車の動搖と音響とを地震のそれと混同して居るのであらう。

十四五歳になると精神内容も豐富になり「ヒステリー」の樣な病氣も大人の症候に似て來ると同樣に著明な神經衰弱を起して居るものがあつた。心悸亢進、食思不振、頭痛、貧血等の訴を持つて來た。

是等は凡て恐怖不安から起つた現象であるが其他兒童が疾病を起す樣な種々な原因に遭遇して居る。

殊に本所深川の方面では逃るに路なく辛うじて生命を全うしたのであるから或は水に漬り又は火事の煙を吸入して居る。幸に安全地帶に逃れた者も數日間屋外に寢、母親の食物が無いから母乳は出ない

私の病室に收容した三歳の女兒は三日間全く絶食であつた、又本所國技館から收容した姓名年齡不詳の男兒(凡そ五歳)は二日間絶食の後玄米の「ムスビ」を與へられた、又或乳兒は不足な母乳に泣き通した後煉乳の配給を受けた、然るに之れを稀釋するにも水が無いので母親は空腹に泣く小兒を見るに堪えず惡いと知りつゝ溝の水を以て釋いて與へたと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

毎年八九月の頃は大腸「カタール」、赤痢、疫痢の多い頃であるが本年は罹災兒童が斯く非衛生的狀況にあつたので多數の此種の病氣が發生した。

斯くの如くであるから震災後小兒を侵した疾病は主として消化器病殊に大腸「カタール」、赤痢の類と氣管枝「カタール」であつた。

九月中私の外來を訪ふた罹災患兒約二百五十名中、大腸加答兒の類（多少血液を混じた便を排するものを加ふ）五十四、乳兒並に離乳期の消化不良症四十三、咽頭「カタール」、氣管枝「カタール」、流行性感冒の類は數に於ても比較的少いものであるが野宿煤煙の吸入によるものであるから確かに震災と關係あるものであらう。

それから此流行性感冒と思はれるもので一時或は腦膜炎の樣な症候を發し盛んに譫語を發する例を見た。之れは年長の男兒であつたが數日で全く忘れた樣に治つて仕舞つた、唐澤博士も斯う云ふ病氣を見られたと云ふから確かに存在した一種の病氣であつたに相違ない。

詳細の觀察は醫學雜誌に述る事にする。

扨次に目下の狀況は平常ならば天高く馬肥ゆると云ふ小兒に最も適當な期節であるのに病人は中々多い、恐怖による疾病は最早無くなつた、大腸「カタル」や赤痢も疫痢も最早終熄せんとして居る。

之から後小兒を侵す病氣は呼吸器病で最早そろそろ其萌を認める。

罹災者の住居は「バラック」で通風は著しくいゝ病院も亦「バラック」が多い、毛細氣管枝炎や肺炎の治療は實に困難な事であらう。

小兒咳嗽の手當

醫學博士　竹内薫兵　述

誰でも子供が咳嗽をすれば、早く止めてやりたいと思ふ。殊に母親などは、何は置いても咳を止めて下さいと望む人が少くない、然し咳には種類があつ

て、早く止めてよい咳と、止めては却て身體に害になる咳との二通りある。それで、いま出てをる咳は止めてよい咳に屬するか、止めて惡るい方の咳であるかとを見判けるのは正に醫師の領分であるからそれは茲では述べませんが要するに咳は、出るべき理由あつて出るのであるから、むやみに止めべきものでない、といふ事は忘れてならぬのである。

それなら咳の出る時は放つて見て居ればよいかといふに、さうではない、それ〴〵手當が要るのである、抑も一概に咳といつても、必ずしも一つ所から出て來るものではない。鼻が惡るくても、喉咽が惡るくても氣管枝に病氣があつても、又勿論肺や肋膜に病氣があつても出るのである。それから、そんな所に病氣はなくも耳の病氣や腦の淋巴腺の腫れる病などでも皆咳が出る。然るにこれ等の病氣は、一々療治が異ふものであるから、こゝから出る咳の治療法も從つて異ふものである。

賣藥にある咳止めの藥りを飲ましたところで、此の理をよく飲み込んで、それに應じて手當をしない限りは容易に治るものではない。又大人の咳を止める方法と子供のとは違ふから、大人の藥を分量を少しにして子供に與へたところで害はあつても益はない。咳は容易に止まらないことゝなる。

其手當、咳嗽の出る場所さへ判れば、其處を治療すれば敢て咳を止めやうとしないでも、自然と咳は止まる、しかし咳だけが病氣ではない、病氣は必ず咳以外にあるから、むやみに咳止めばかりあせつてはならぬ。例へば氣管枝といふ處へ痰がたまると、必ず咳が出る、それ故本元の痰を直さなければ、いくら咳止めの藥を飲んだところで咳は決して止まらぬ又百日咳といふ病氣がある、これは咽喉へ百日咳菌といふ黴菌が附著てその結果其部分を惡るくして出る咳嗽である、これには何程氣管枝の療治をしたとて咳は止まらぬ、かく簡單な事であるが、世の多くの母親達或は醫師さへも考へ違ひをしてをる人がないとも限らぬから、くど〳〵と述べた次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どんな咳にも空氣は濕つてをるがよい。空氣が乾燥し過ぎると咳は治らぬ、これは、どこから出る咳でも同じである。それ故咳の出る病人のをる部屋は火鉢へ金盥の樣な平たい器へ水をいれたものを掛けて、絶えず湯氣を立てゝ置くがよい。吸入器から蒸氣を出し放しにしたり、又近頃は室內蒸氣罐を備へ付けて室內に水蒸氣を十分にしようとする向きもあるが蒸氣が兎角多くなり過ぎて、濕度も昇り過ぎて日本の室には不適當だと思はるゝことが多い。但し蒸氣の分量と濕度の過高とを注意すれば敢て止めはしません、殊に梅雨期其他空氣の濕めつてる時期には不必要である。

　これと同じ理由で、熱の出た時と同樣に、胸へ濕布をしてもよろしいが。病氣のあり場所によつて必ずしも胸とは限りません、頸へ卷く事もある。熱がない限りは、溫い濕布にすべきである。

　室の濕度。此外一番大切なことは、病人の室は溫かにして置くことである、華氏で六十度內外が丁度よい。然し此濕度は健康な人には少し苦しい程度であるから、少し位ゐの咳ならば何も必ず六十度と限つた譯ではない、今少し低くてもよいのである。唯濕度に甚だしい高下のあるのは惡るい。

　要するに咳に大切な事は濕りぽくして溫かくするのが主である。昔から咳が出たら溫くせよといふのは、今も變らない定說であるが、如何なる場合にもと思ふのは誤まりで、又程度もある。よく良家の子女を大切にといふので、咳一つしても厚著させ、部屋を閉め切るといふ樣にする結果は、却て抵抗力を減じ、普通の子供よりもずつと弱い子供となつてしまふのは、其程度を誤つたものである。

　冷水浴の害。然らば大人と同樣に冷水浴、冷水摩擦などを平素から行つてゐたら、定めし子供も大人と同樣に、皮膚が丈夫になつて風邪引かずに濟むかといふに、それはさうでない、三歲以前に子供に冷水浴をさせるのは、少くとも我が日本では害があるこれまで私の實驗では皆結果が惡るい。これは我

が邦と西洋との家の構造にもよる事と思ふが、一つは平素に熱い湯に入る癖が皮膚についてゐるために皮膚が弱くなつてるところへ、急に冷水へ入り、又は冷水で摩擦されるために、却て風邪にかゝるのであらうと思ふ。

抑も我が國人の入る湯の溫度は私が凡そ百人の大人に就いて實驗したところでは、四十四、五度（攝氏）である。子供を入れる時はずつとぬるくした積りでも、大人の加減であるから、四十度以下といふ事は少い。これは子供の皮膚としては高過ぎると、私は思ふ。それ故子供は此溫度に馴れるところへ、急に冷水へ入れられるので病氣になるのであらうと思はれる。

咳の豫防は勿論、種々な豫防になるためには、私は子供に入浴をすゝめるのである。然し其溫度をば現今よりずつと低くして、日向水位に平氣で堪へられる樣な習慣を作りたい。いきなり冷水に入れたり又平素に熱い湯に入れて時たま冷水浴をするのは、却て健康に害がある。

名を命ければ低溫浴である。而して低溫浴中で子供の身體を平手で十分に摩擦てやるがよい。子供は非常に喜ぶが上に、健康にも慥かに有益である。

然し忘れてはならぬ、これは豫防法である。一旦病氣になつた曉には、前申した通り溫かく而して濕りぽくするがよいのである。

藥品には種々あるが、それは略する。醫師でなければ治療の時期や方法を誤り、取り返しの付かぬ樣になる事があるからである。

家庭衛生

夜盲症

莊司秋次郎述

東京大震火災の後、間もなく夜盲症が罹災者の間に大變多くなつたと云ふ事が新聞紙上に見えました併し其頃私は猶ほ一名も同病患者を見ず、又實際さう短時間に本病が發生する筈のものとも信じなかつた。但し睡眠不足及び風塵の爲め且つは一般に非衛生的の狀態にあつたが爲めに一種の劇しい結膜炎が流行致しました。而してこれが漸く下火になつて十一月に入つてポツ〳〵夜盲症を見るようになりました。

この夜盲症は、俗に疳目と申しまして、所謂脾疳の小兒に起る症狀である。昔時脾疳といふたのは大部分小兒の慢性の結核性腹膜炎を總稱して居つたもの丶樣に思はれます。卽ち小兒が羸瘦して徒らに腹ばかり膨れて、幾ら食物を貪ぼつても肥らない。斯樣な小兒は脾疳に罹つて居るものと看做された、而して斯樣な小兒に屢々起る所の眼病であるから、これを疳目と稱したものと思はれます。この疳目と云ふのは何かと申しますと、今日の所謂結膜乾燥症卽ち「クセロージス」と云ふ一種の眼病で主として夜盲を訴へるものであります。依て茲に結膜乾燥症に就て少しお話致して見ようと思ひます。

尙ほこれを鳥目とも申しますが、それは結膜乾燥症では光線の不足な處では著しく視力が減ずる。鳥類も薄暮方になると目が視えなくなつて往々塒に惑ふたりする所から、鳥目と云ふ病名が出來たものと見える。或は昔の鳥の刻頃になると視えなくなるからかも知れぬ。併じこの鳥目と云ふ中には色素性網膜炎など丶云ふ先天性の眼病も含まれて居ります

から、それは又別として。茲には主として結膜乾燥症に因る夜盲のお話を致します。

結膜乾燥症と申しますのは、眼球結膜、即ち白目の上に被つて居る膜が乾燥する。一體眼球は常に涙液で潤うて居るものですが、それが何等かの故障に因て乾くことがあるのです。例へば「トラホーム」の病變の結果さうなることがあり、種々の病氣に由て眼瞼がよく閉ぢなくなるとさう云ふことが起る。然るにこの眞正の結膜乾燥症は何うして起るかと云ふことに就ては從來種々の議論があつて、未だ完全な解釋がついて居らぬのであります。

本病に於て最も早く訴へられる症狀は夜盲で、少し薄暗くなると著しく視力が減ずる、これが先づ主な症狀である所から、俗に夜盲症と一概に云ふのであるが、夜盲は乾燥眼に限つたものでないのですから、その邊も御承知置きを願ひ度い。

さて本病患者が夜盲を訴へて來る時に、よく診察致しますと、角膜の兩側の處、即ち結膜の瞼裂に相當する部分に白色の恰も雲母の粉でも附着して居るかと思はれる樣な處が見える、而て眼球結膜全般に何となく色艶が惡い、甚しくなると暗黄白色の日本蠟燭の樣な色合になつて來る、而して其頃には角膜も漸次光澤を損して來て、遂には磨硝子の樣になり、明い處でも視力が衰へ、最後には角膜全體に壞れるやうになる、此時にはこれを角膜軟化症と申しまして、瞎目で眼が潰れると云ふのは此の場合であります。斯樣な事になるのは大概甚しく衰弱した小兒でありまして、多くは此處に至る迄に死亡するのであります。

それで何うして斯樣な眼病が起るかと申しますと本病の場合に、前に申しました變化ある部分に就て檢査を致して見ますると、一種特別の黴菌が澤山居るのを發見する、即ち「クセローシス、バチルレン」と云ふものであります。そこで此の黴菌に因て本病は起るものだと云ふた學者があつた。ところが、いやさうではない、本病が起ると其處に好んでこの黴

菌が繁殖するるのであると云ふ人がある。然らば果して何が原因であるかと段々詮索して行つて、これは榮養不給の結果であると看做した。その證據には實際榮養の衰へた小兒、又は產後或は囚人などに多いのを見ても分かる、特に露西亞あたりで宗敎上の習慣で斷食する後に起ると云ふ所を見てもそれに相違ないと云ふ說がある。然るに敢て榮養不給とは思はれない小僧さん方などに屢々本病の起るのは何うしたものかと云ふ疑問が起る。且つ本病患者に脂肪分の多い食物を與へると著しく善くなると云ふ事實からして、これは必ずしも單に榮養の不足から起るのではなく、脂肪分の不足に因るのであらうと考へて來た。而して本病患者の血液を檢べて見ると果して脂肪分が少ないなどゝ云ふ研究がある。そこへ以て來て近頃例の「ヴィタミン」說が出て來て、「ヴィタミン」Aが缺乏すると乾燥眼が起る、而して「ヴィタミン」Aを多く含むでゐる食物を與へるとこれが治癒すると云ひ出した。そこで肝油が一番よく夜盲に效があるので、肝油には「ヴィタミン」Aが多く含まれて居る。「ヴィタミン」Aが多く含まれて居るから肝油が夜盲症にきくのであると云ふ理窟がついたのであります。この「ヴィタミン」と云ふものゝ本性については本誌本號に揭げられた坂口博士の講演に依て御承知を願ふ事と致しまして、商賣人は素早いもので何時の間にか、この幽靈の様な「ヴィタミン」AとかBとかCとか云ふ物を捕へて賣出して居ります、いづれ遠からずABC二十六「ヴィタンン」が出來ることゝ存じますが、餘程眉に唾をつけて御服用あらんことを希望致して置きます。

それはさて措き、實際最近「ヴィタミン」A缺乏食を以て飼養した動物が乾燥眼に罹り、それを解剖して見ると淚腺と云ふ淚の出る源に變化が起つて居ることを確かめ、その爲に結膜が十分淚に潤はされず此の眼病が起るのであると云ふ研究が出て參りました。これが先づ今日の所では一番尤らしい說明になつて居る樣なわけです。

兎に角この位醫學研究の內幕を申上げれば、普通の方々でも大概夜盲症の原因を臆測なさる事が出來ようと思ひますから、その方のお話はこの位で打切つて、最後に夜盲症、療法上の注意を申上げます。

以上申述べた原因に鑑みて、兎も角も「ヴィタミン」Aが多く含まれて居ると稱せられる食物を適當にたべて豫防することが必要であるが、若し小兒又は店員、傭人などに夜盲症が起り、眼科の診斷に依てそれが乾燥眼の爲であると云ふことが確かめられたならば、全身病の治療は本より、總て醫師の處方指圖に從ふべきであるが、第一に平常の食物を改良することが最も大切である。特別理窟をつける必要がないから、何でも胃腸を害しない限りウマイモノを十分に御馳走する事である。唯特に注意すべき事は午蒡や大根よりも成るべく魚類や獸肉、卽ち西洋料理、支那料理又は鰻の蒲燒など〻云ふ所を盛に店員や小僧さん其他の傭人などに食べさせる樣にするだけのことであります。

昔から夜盲には八ッ目鰻を食べるとよいと申しますが、これは其實目ではない鰓孔であるが、目が澤山ある樣に見える所から、盲の補足にでもなる氣で食べたのでありませうが、偶〻八ッ目鰻にも幾分脂肪がある、其内には幾分「ヴィタミン」Aが含まれて居るので效能があるのでありませう。鳥目に雞の肝を食べると效能があると云ふのも同じく語呂合の樣な半おまじない的の療法に出たものと思はれますが併し八ッ目鰻及び雞の肝が實際乾燥眼に效驗のあることは事實で、今日の學理上から云ふても正に然るべき筈の事であります。併しそれは殆ど偶然又は覺束ない經驗から來た事に過ぎないのでありますからその理の明かになつた今日に於ては目數とか鳥と云ふ言葉などから謎の樣な療法を企てるのは愚であつて、須らく一歩を進めて「ヴィタミン」Aを成るべく多く含むでゐる食品と云ふ所に目をつけて食物を選擇すべきであります。この點から云ふても夜盲症には從來普ねく賞用された肝油などは最も適當な榮養

品と謂ふべきものでありませう。

地震津浪及火災に關する注意

久吾與那藏 述

去る九月一日の關東の大地震、これに續いて起つた津浪の慘害は、實に何とも申し樣のない甚しいもので御座いました。併し地震や津浪の豫防法とては今日の所何とも致方がない、專ら萬一の際の避難の仕方に就て心得置くべき事であります。震災豫防調査會では多年次の如く地震津浪の避難に關する注意を宣傳して居りますが、今後とても別に變つた事はありますまいから、これをそのまゝ此處に掲げる事と致します。

一、狼狽せず戸外に避難するを最も肝要とす。

二、地割れの危險は皆無なれば心配するに及ばす。

三、成るべく廣き場所に避難すべし、戸外に出づるも塀、塗壁、石燈籠等に身を寄するは危險なり、狹き道、崖下若しくは煉瓦煙突の附近を通行するは注意すべし、屋内にても煖爐用煉瓦煙突の下は煙突破壞墜落の虞れあり甚だ危險なり。

四、普通日本家屋が、倒潰する迄には相應に時の猶豫あるも、萬一戸外に出づる能はざれば、丈夫なる机、寢臺等の下に身を寄するも可なり。

五、避難の際には火の用心を忘る可からず、洋燈火鉢、竈等より發火せしめざる注意を要す、電燈線に異狀を起せる疑あらば、直ちに安全器により電流を遮斷するを可とす。

六、震後の火災に伴ひ瓦斯管の破裂あり、當局の注意を要す。

七、大震の際水道鐵管は容易に損害を蒙り貯水池も破壞することあり、給水の不足を來たすは必然なるのみならず、市内各所より發火す可ければ、潰倒せざる家屋に於ても、直ちに水道より（可能の場合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に)水を吸み貯へ置くを可とす。

八、海濱の地、殊に大平洋沿岸にて大地震あるとき、若しくは大地震ならざるも稍〻強き地震が長く繼續するとき(卽ち稍〻遠き大地震あるとき)は、一時間内外に津浪來襲し、港灣に高潮を押し上ぐる虞れあり、激甚なる津浪の前兆としては、多くは海水減退するを例とす、斯かる場合には直ちに高所に避難するを要す。

九、震後の混雜により失火する場合あり、注意すべし。

十、震後煖爐用煙突を檢査し、損害あれば十分に修理すべし、然らざれば天井裏より發火することあるべし。

十一、學校、工場、病院、集會所等に於ては出入口の構造便利なるを要す、出入口が狹きに過ぎ、階段多き爲め逃出の際死傷者を生ずる事少なからず。

十二、逃出の際、屋根瓦落下の爲め負傷することあり、構造方に注意を要す。

十三、大地震にて家屋が甚しく振搖傾斜すれば雨戸は開き難ければ、地震戸を設くるを便利とす、地震戸とは雨戸に設けたる小開戸なり。

十四、各學校に於ては、地震の際恐怖を起さゞらしむる樣、平常より生徒に注意を與へ置くべし。

十五、相當に造營せられたる鐵骨大建築物が半潰或は全潰となるが如き震害を受くることは絶無にして、帳壁の裂罅を生ずるも、二三階以下の下層に限るものなれば、七八階の高處に居住したりとて、別に危險なる理由なし、故に其の居住者は、激震に際しても外に逃れ出でざるを可とす、但し間仕切壁が薄弱にして龜裂崩落の恐れあれば、室内の中央に居りて斯かる壁面に近づかざるを要す。

地震及び津浪に就ての注意は、震災豫防調査會の右の注意書を以て最もその要を得たものと信じます
尙ほ其中の第五、六、七に於て既に火災豫防の注意も盡されて居ると思ひますが、さて實際に今回の東京の如き大火災が起つて見ると、火災の慘害は到底

震災直接の慘害の及ぶ所ではない、一切の物悉く烏有に歸するのみならず、震災直接の死傷に比すれば幾百千倍の死傷者を出すのであります。東京の如き大都會に於て震災の爲に八方から發火したとなりますと、水道が用をなさず、消防も意に任せず、唯だ風のまにまに猛火の荒れ狂ふに委すことゝなります。斯う云ふ場合になりますと、單に風上に逃れよとか、煙が來たならば顔を地面につけよとか云ふ位な普通の火事の時の心得は殆ど何の役にも立ちません。

本所深川邊に居住してゐて最も安全確實に死を免れた人々は、所々に火が起つたと見ると家族を纏めて其他は一切構はず、一目算に出來得るだけ遠く、郡部に到る迄も逃れた人々でありました。

荷物などを持出しても、皆途中で棄て、或はその荷物が燃草になつて燒死しました。

これに由て觀ると、此の如き大火災の時には生命大事に一切の慾を離れて、若し携へ得るならば、各幾里でも走り得るだけの風呂敷包一個を背負ふて家族中の老幼者を保護扶助しつゝ可及的遠く、途中の空屋敷又は小公園などに安堵することなく、確實安全の地域に入る迄まつしぐらに逃げるより他に途はありません。なまじ小賢い事を考へたり工夫したりした人は、皆それが爲に死にました。非常の場合には小利口な事は何にも役に立つものではありません。平素の確實なる科學的知識と經驗と堅固なる意志及び果斷力の修養に竢つのみであります。

○關東大震災

大正十二年九月一日正午近く東京本鄕區に於ける本誌編輯室に於て地震を感じた。最初振動緩慢であつたが漸次強大急激となり、家鳴り烈しく屋瓦飛散

し、黄塵濛々として、世間は次第に騒擾の體となつた。東京帝國大學地震學教室の今村博士は、新聞記者に對して左の如く説明せられた。

『發震時刻は午前十一時五十八分四十四秒で、震原は東京の南方二十六里卽ち伊豆大島附近の海底と推定する、さうして振幅四寸に達する程の振動を示して居るから、東京では安政以來の大地震であるが、若し震原の推定に誤りがなかつたら一時間以內に或は津浪を伴ふかも知れぬ、それでも波は相模灣の內殊に小田原方面に著しく、東京灣は必ず無事であらう、又今後多少の餘震は繼續せんも大地震は決して重ねて起るまい。尙ほ地震の性質は非火山性にして構造性である』。

その後日々大小の餘震頻々として不安の思あらしめたが、九月十一日正午までの餘震回數は次の如くであつた。

二日正午迄	三五六回	三日正午迄	二八九回
四日　同	一七三回	五日　同	一四八回
六日　同	七八回	七日　同	四五回
八日　同	四三回	九日　同	四二回
十日　同	三二回	十一日同	一九回

通計一、二二五回

更に今村博士は觀測器械の破損、敎室の危險等のために三日に至て漸く取纏められたる第二回調査に於て左の如く言はれた。

『初動の方向は上方動、初期微動繼續時間一三・九秒なること、餘震の強きものも亦多くこれに似て居るので、震原の推定は前回と變りは無いが、震幅に就ては六寸程の波動があつたことを附加へておく。然し震幅の週期は二秒若しくはそれ以上で震動比較的に緩慢であつたから、震幅に於ては安政の場合に優り、震力に於ては寧ろ稍々輕かつたかと思はれる』。

尙ほ九月八日に發表された同博士の第三回調査の一節に依て震域竝に震度の概況を窺ふことが出來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「各地の震度は震原からの距離に支配されること勿論であるけれども、土地の硬軟によること最も著しく亦地形にも關係する。震度最激なりしは湘南一帶の砂地で、特にそれが地震帶に正對して居る關係もある。小田原は三方を堅き地盤で圍まれて居る關係上、震動の焦點になり易く、安房では北條館山が地盤殊に弱きため、震度が最大である、其他の町村は地盤堅牢なために三浦半島と同様に震原に近くも震度次位にある、伊豆の東部も亦同樣である、即ち最激震區域は安房の鴨川、木更津、東京の東北方を東境とし、東京の北方から酒邊川流域に至る線を北境とし、それから伊豆の東部を以て西境として居る。この震度分佈は元祿地震の場合と殆んど吻合して居るが、唯少許の差違は安房の天津以東勝浦に至る間が今回は輕かつたことにある、此は元祿地震が今度の東北系の緩きに起つたことに歸著する。津浪は相模灘の沿岸、伊豆の下田、大島等に波及し少許の船舶流失家屋の床上又は床下浸水の程度に止まり、唯熱海、初島、伊東、宇佐見、川奈、稻取等に於て家屋の流失破壞したものがいくらかあつた」。

○全市火の海と化す

九月一日大震後間もなく本郷區に於て帝大構内に火煙を發し、麴町區に於ては警視廳裏に火の手揚れる由を耳にしたが、午後三時頃に至ては全市各所に火を發し、風のまにまに東西南北三晝夜に亙つて全市火の海と化し、未曾有の死傷者を出して流石の大東京もあはれ焦土となり了つた。この火は凡そ八十一個所より同時に起れるものなりと云ふ。東京市調査課の調査による八日午後現在の全市燒失家屋四十一萬一千三十五戸、この燒失地内に居住したる人口は百五十四萬七千三百五十一人なりしと、これを各區別にすれば左表の如くである。

區名	燒失戸數	居住人口	備考
麴町	二、七九二	一二、五六〇	燒失町の分
神田	四五、九五二	一六二、九八九	(佐久間町和泉町を除き全部)
日本橋	二六、〇七七	一五二、三二六	全部燒失

京橋	五〇、七四九	一五八、四八〇	全部燒失
芝	一六、二七八	七二、四二九	燒失町の分
赤坂	三、八五一	一六、七八七	同前
四谷	一、六〇四	六、四九四	同前
小石川	一、三六五	四、四三二	同前
本郷	八、七九〇	三〇、〇三五	同前
下谷	四八、〇七〇	一七一、九八六	同前
淺草	八一、八七二	二八四、二九六	全部燒失
本所	七四、五八八	二七七、四五九	同前
深川	四九、〇四七	一九七、〇七八	同前
合計	四二〇、〇三五	一、五四七、三五一	

因に大震火災の慘狀東京にも過ぎたる横濱市にありては倒壞燒失家屋七萬二千戸、死者約三萬と注せらる。湘南地方一帶亦これに次ぐ。

○白骨山を爲す

大震火災に由る壓死、燒死者の屍體取かたづけのため警視廳は十二臺の貨物自動車と一千名の人夫を使役して芝浦埋立地、吉原病院跡及び田中町臨時火葬場、淺草區役所跡、同七軒町河岸、本所被服廠跡待乳山、本所綠町臨時火葬場、深川東大工町及び平久町、龜戸改修河川放水路、向島德川邸脇信成寺神田三崎町臨時火葬場等に於てその燒却に力め、死者約六萬七千と稱すれども、實數は更にこの上に出るものと思はる。今試みに各避難所及び工場等に於て同時に燒死したる著しきものゝ例を擧ぐれば左の如くである。

本所被服廠跡	三萬五千餘
吉原遊廓内	二千五百
吾妻橋際河中	八百
王子染絨工場	八百
坂本公園	三百
本所横網安田邸内	二百
王子製紙工場	百七十
向島吾嬬村	百

尙は火に逼まられて河中に飛込み或は顚落し、又は船を以て遁れんとして其の中に燒死し或は顚覆して溺死したる者數を知らず、市中を通せる大小の河川は漂流屍體を以て水面を蔽ひ、ために救濟船も航行不能の狀態であつた。

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁　東伏見宮大妃周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子

副會長　子爵夫人　濱尾作子

（いろは順）

理事　鳩山春子
同　岡田德子
同　山口貞子
同　三浦敎子
評議員　入澤常子
同　服部繁子
同　子爵母堂　仁禮壽賀子
同　緒方悅子
同　小川孝子
同　片山龜子
同　丹波貞子
同　男爵夫人　南部隈子
同　松平芳子
同　男爵夫人　古市幸子
同　相磯まさ子
同　岸澄子
同　宮木樂子
同　守屋千代子

同　長谷川仲子
同　高木鍱子
同　天野多喜子
同　羽田三緒子
同　原光子
同　土肥多越子
同　岡山とし子
同　男爵母堂　加藤鈴子
同　吉岡彌生子
同　高橋孝子
同　中濱芳子
同　子爵母堂　松井正子
同　近藤滋子
同　男爵母堂　青山孝子
同　菊地米子
同　三宅藤子
同　瀨川さわ子

大正十二年十二月十二日印刷
大正十二年十二月十五日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯者 兼 發行者　菲司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者　柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所　合資會社　杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地
發行所　私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂
同　市銀座三丁目　東海堂
同　市京橋區鍋屋町　眞明堂
同　市本郷區龍岡町　南江堂支店
同　市芝區愛宕町　明文館
京都市寺町二條南入　若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町　北隆館
同市神田區表神保町　東京堂
同市本郷區本富士町　盛春堂
名古屋市榮町六丁目　丸善書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百七十二號　大正十二年十二月十五日發行

腸疾治療劑

ラクトスターゼ

ラクトスターゼはメチニコッフ博士の腸內容中毒說以來有名となれる乳酸菌製劑にして、同博士の以て最良となせる眞正ブルガリアン乳酸菌を生活狀態に於て保有するものなり。本品中に含有せらる、乳酸菌は腸中に至り茲に繁殖を遂げ乳酸を醸成して腸內の異常醱酵乃至腐敗を防止し蛋白質の消化分解を完全ならしめ同時に適度なる刺戟を腸壁に與へて其分泌、吸收、蠕動の主要官能を旺盛ならしむ、依之諸般の腸疾患を防ぎ進むで腸內容の防制腐に乘て其排泄を迅速ならしむるか爲め新陳代謝順調となり、所謂早老豫防の效果を完ふし得と稱せらる。

適應症　異常醱酵性下痢、人工營養兒の消化不良、急慢の腸加答兒、皷腸、常習便秘、腸內有害產物吸收の結果として生ずる蕁麻疹、濕疹等の皮膚疾患、腸性貧血、慢性腎炎肝硬化及蛋白質多食を必要とする諸症例へば肺結核、糖尿病等。

■粉末、錠劑各種あり。■各地有名藥舖にて販賣す　■文獻集發賣元より贈呈すべし。

本社　東京日本橋區室町三丁目
出張所　大阪淡路町・臺北市表町

三共株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN